

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)未来の希望に向かって発展・向上する明るく元気な子どもを育む 2)心豊かに優しい地域社会で生き活きと共生できる子どもを育む 3)みんなを親しみ愛し、太陽のような温かい心を持った子どもを育む
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	自ら考え、行動できる人材 柔軟な考えをもっており、考えに余裕をもつことができる人材
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	保育園で働くということの社会的責任と社会に貢献しているという自信

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保育所を利用している全世帯を対象に調査を行った。 子どもの総数は19人。		
調査方法	アンケート調査を行った。保育所より調査票を配布。回収は返信用封筒で評価機関に直接郵送してもらう形をとった。		
	利用者総数	19	
	利用者家族総数（世帯）	19	
	共通評価項目による調査対象者数	19	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	15	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	78.9	

利用者調査全体のコメント

MIRATZ六町保育園は、株式会社MIRATZが事業運営している。平成30年4月に定員19名（0歳児：6人、1歳児：6人、2歳児：7人）の足立区小規模認可保育園として開設された。今回の調査で共通評価項目の12項目で89.7％～93.3％の人が「はい」と答えたのに対して、「12.子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか」については「はい」が53.3％という結果であった。総合的な調査結果では、「大変満足」と「満足」を合わせると93.3％となる。各評価項目の自由意見には記述は多くなかったが、総合的な感想には記述が多くあり「先生方の人柄が良く子どもがどの先生にもなついており安心して預けられる」「子どもの様子に合わせ個別対応してくれるので、子どもの気持ちを配慮してもらい親としてありがたい」「家庭では体験できない遊びやお友だちとの接し方、いろんな事を覚えて帰って来ている。子どものフィードバックをしてくれるので安心です」「小規模保育を選択し、この保育園に出会えて良かった」などの意見が多かった。また、「保育士の入れ替えが多すぎると感じる、昨年度は担任が3人も変わった」という意見もあった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	14	1	0	0
「はい」が93.3％、「どちらともいえない」が6.7％であった。「いいえ」と「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	13	2	0	0
「はい」が89.7％、「どちらともいえない」が13.3％であった。「いいえ」と「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	13	1	0	1
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が6.7%であった。なお、「どちらともいえない」と答えた人は、その理由として食事をとる月齢に達していないことを挙げている。「いいえ」の回答はなかった。「無回答・非該当」は6.7%であった。「お肉、お魚はもう少し小さめに切った方が良いと思う。大人の一口サイズでは大きすぎると思う」という意見があった。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	3	0	1
「はい」が73.3%、「どちらともいえない」が20%であった。「いいえ」の回答はなかった。「無回答・非該当」は6.7%であった。自由意見の記述はなかった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	13	1	0	1
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が6.7%であった。「いいえ」の回答はなかった。「無回答・非該当」は6.7%であった。自由意見の記述はなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であった。「いいえ」と「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	10	5	0	0
「はい」が66.7%、「どちらともいえない」が33.3%であった。「いいえ」と「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見に「日時のお知らせは1カ月前にはほしい。仕事の休み希望など調整が必要なため早めに知らせてほしい」という意見があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であった。「いいえ」と「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	14	0	1	0
「はい」が93.3%、「いいえ」が6.7%であった。「どちらともいえない」「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	13	2	0	0
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%であった。「いいえ」「どちらともいえない」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				

通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	2	0	0
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%であった。「いいえ」「無回答・非該当」の回答はなかった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	4	0	3
「はい」が53.3%、「どちらともいえない」が26.7%であった。「いいえ」の回答はなかった。「無回答・非該当」は20%であった。自由意見の記述はなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であった。「いいえ」と「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	11	2	0	2
「はい」が73.3%、「どちらともいえない」が13.3%であった。「いいえ」の回答はなかった。「無回答・非該当」は13.3%であった。自由意見の記述はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	13	2	0	0
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%であった。「いいえ」「無回答・非該当」の回答はなかった。自由意見の記述はなかった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	13	1	0	1
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が6.7%であった。「いいえ」の回答はなかった。「無回答・非該当」は6.7%であった。自由意見の記述はなかった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	4	7	1	3
「はい」が26.7%、「どちらともいえない」が46.7%であった。「いいえ」は6.7%で「無回答・非該当」が20%であった。自由意見の記述はなかった。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー 1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー 1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
	評価項目 1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している		評点（ ○○ ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている		評点（ ○○ ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3		
	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（ ○○○ ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー 1 の講評		
	① 「園のしおり」を作り上げ、園が目指している理念の理解が深まる取り組みをしている 六町保育園が所属する法人グループの共通した園の理念やビジョンを掲げているものの、開園初年度の昨年は、理念を実現化する具体的な園の運営方針なども関係者には明瞭になっていなかった。今年度が始まる前に、経営層は職員の意見も採用して、園の理念・方針・目標・計画、園の運営や利用規約を網羅した資料「園のしおり」を初めて作成した。それを、新入園児保護者には入園式の時に、在園児保護者には全体会を新たに開催して配布・説明をして園が目指している理念や方針の理解が深まることに努めている。 ② 経営層は各クラス会議に参加をして、具体的に取り組むべき方向性を示している 経営層が主催する職員会議を月 2 回開催している。主として議題は、月初は行事予定やその打ち合わせ、月中は各クラス報告がメインであるが、それぞれで園長は日々保育で感じていることを伝えて、対応すべき内容や注意事項を示している。また月中の職員会議の前には、まずクラス内でクラスの年度の目標、保育の内容、振り返りについて		

	て話し合い、それを資料にまとめ、次に園長や主任も交えたクラス会議をおこなっていて、クラス運営について経営層はアドバイスや指摘をしており、各クラスごとに具体的に取り組むべき方向性を示している。 ③ 法人代表と園サイド（園長や主任）の職務権限を規程化することを期待したい 小規模な事業所であるため、重要な案件の検討については園長に直接話が上がり、園長の判断で対応策や方針が決定されている。園長が判断に迷うことや所属する法人グループに共通する案件に関しては、法人の代表に相談や確認をすることになっている。ただし、その決まりに関してはあいまいな点もあり、職務権限などの詳細はまだ規程化されていない。法人グループの保育園数は今後も増大することが見込まれており、代表と園サイド（園長や主任）の職務権限の範囲を明らかにした規程を整備することを期待したい。																																												
2	カテゴリー 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 サブカテゴリー 1（2-1） 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6 評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点（ ○○○○○○ ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> サブカテゴリー 2（2-2） 実践的な計画策定に取り組んでいる サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3/5 評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点（ ○●● ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○あり ●なし</td><td>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>○あり ●なし</td><td>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点（ ○○ ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当	評価	標準項目		○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当																																											
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																																											
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当																																											
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当																																											
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当																																											
評価	標準項目																																												
○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当																																											
○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当																																											
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当																																											
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当																																											

カテゴリー 2 の講評

① アンケートを利用してニーズを把握し、年度事業計画に反映する仕組み作りを期待したい

園長は「えんだより」を毎月発行しており、職員から保護者に渡す時に、同時にアンケート用紙も渡している。記名式で記入された意見、感想、疑問や要望などに対して園長は、それぞれの担任保育士に状況を確認して、園の対応を記載して保護者に返却している。アンケートには利用者の情報だけでなく、ニーズも内在しているので、年度課題として取り上げられるものがないかという観点でアンケートを分類整理して、必要であれば取得したその他の意向やニーズと合わせて年度事業計画に反映させる仕組みをつくることを期待したい。

② 事業の展望を踏まえ、中・長期計画を策定し、単年度計画をリンクさせることが望まれる

開設2年目の保育園であり、単年度事業計画は策定しているものの、事業の将来の展望を見据えた中・長期事業計画が策定されていない。理念やビジョンの実現に向けて、何をいつおこなうかの長期スパンの課題を策定し、具体的なアクションを年次予算とともに単年度事業計画に落とすプロセスがまだ確立されていない。これらの事業計画、課題や方策を職員に説明し、理解を深めることで日々の保育活動の方向性も定まり、職員も安心して保育業務に従事していけることにつながるので、早期の中・長期事業計画策定と単年度計画の見直し・充実を期待する。

③ 役割担当を決めて、保育力の向上と保育のバリエーション増加を図っている

保育のバリエーション増加と保育力の向上のために、「クリエイター部（行事、イベント、チラシ）、フィジカル部（体を動かす遊び）、リズムパフォーマンス部（音楽・リズムを用いた発育）、クラフトデザイン部（絵画制作）」をつくり、職員の意志に応じて役割分担を決めて、それぞれが遊び方、道具の使い方、楽しむためのコツなどの資料や道具集めに取り組んでいる。これらに関しては、担当者を研修に参加させたり、毎月の職員会議の時に保育力向上リーダーが担当者に達成度合いを確認し、問題点や対策などを議論して力量の向上を促している。

3

カテゴリー 3

経営における社会的責任

サブカテゴリー 1 (3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 2/2

評価項目 1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー 2 (3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 4/4

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している 評点 (〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ 3 (3 - 3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点 (〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点 (〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ 3 の講評		
① 自己チェックシートを用いて、守るべき規範や倫理が遵守されるように取り組んでいる 園では、2ヶ月に1回、「保育実践振り返りシート（足立区ガイドライン別冊）」を用いて、「人権の尊重、虐待等の行為、虐待・ネグレクト等の早期発見、プライバシーの保護」に関する25項目について職員に自己チェックをさせている。園長は各人の自己チェック表を確認して、職員会議でその結果について意見や注意事項を説明し、保育で守るべき規範や倫理が遵守されるように取り組んでいる。		
② 活動要領や実行体制を整備し、地域貢献活動を推進することに取り組んでいる 昨年度は園を開設したばかりであり、実習生やボランティアの受入実績は無いが、今年度は中学生2名の職場体験を始め、地域福祉施設（高齢者デイサービス）との交流をおこなっている。地域貢献活動としては、1. 子育て家庭の育児相談、2. 保育所体験、3. 小中高学生の育児職場体験、4. 実習生・ボランティア体験、5. 保育士対策研修参加、6. 福祉施設交流を掲げており、活動要領を作成し実行体制を準備したり、学校へのポスターや書面送付などと活動の幅を広げて、地域との関係作りをさらに深めていくことに取り組んでいる。		
③ 小規模保育所連絡会に参加して、地域の保育ニーズや運営情報を交換している 足立区の小規模保育所連絡会に参加して、地域の具体的な保育ニーズを把握したり、小規模保育所運営の課題や問題点について情報を交換している。0歳児から5歳児までのテーマを扱った年齢別担任研修を区内の他の保育園で順番に開催しているので、保育観察、事例検討や公開保育に参加をして、研修を通じて地域との関係を深めている。また、第三者委員として地域の民生委員を設定していて、苦情対応には協働できる体制を整えている。		

4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1/5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○●●●●)		
	評価	標準項目	
	○あり ●なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	○あり ●なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 (4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
① リスクを洗い出し、優先順位をつけて対応の策定や訓練の実施をすることを期待したい 発生する災害対象を想定して、毎月避難訓練や対応訓練を実施している。また避難訓練のマニュアルや事故防止マニュアル、感染症対応マニュアルを整備しているが、まだ限定的である。リスクには多くのものがあり、まず全リスクを洗い出し、どのようなリスクがどれくらい発生し、その影響はどれくらい甚大なのかという、発生度と影響度の観点で見る必要がある。さらに優先順位をつけて対応の策定、訓練の実施やマニュアル作りをすすめ、それらに関係者に周知することで、リスク回避と対応・予防に重大な漏れが無いようにすることを期待したい。			
② 近い将来の大規模災害に備えた事業継続計画の策定を検討することが望まれる 事業を停止させる恐れのある災害に遭遇した場合に事業を継続させたり、早期に復旧させたりするために平時におこなっておくべき活動や、災害発生後に取り得る方法や手段を、災害や被害の大きさに応じて前もって予定しておくというのが事業継続計画（BCP）である。保育継続のための対策（経営資源、人・物・情報・金・その他）や緊急時体制、BCPの運用（定着や見直し）については、少しずつでも積み上げておくことが望まれる。その内容は職員や保護者ともに周知・共有して、大災害発生後の行動に備えておくことを期待したい。			

	③ 情報管理については規程の説明など定期的に職員教育をおこなうことを期待したい 法人グループMIRATZ共通の「就業規則」があり、規則内の服務規律で秘密情報の取扱いが定められている。さらに、職員が個人情報を取り扱う際に適用される「個人情報保護基本規程」も定められている。個人情報の文書系は鍵のかかる部屋で施錠されたロッカーに保管されており、電子データ系は経営層のみ使用し、パスワードを設定したPCで扱われている。また保育体験や施設交流会を実施する時には、個人情報の管理を記載した同意書を学校及び施設から得ている。情報管理については規程の説明など定期的に職員教育をおこなうことを期待したい。		
5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1 (5-1)		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 10/12
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (●●)		
	評価	標準項目	
	○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
	○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当	
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当	

サブカテゴリ 2 (5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の

標準項目実施状況 3/3

評価項目 1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ 5 の講評

カテゴリ 5 の講評を入力してください

① 職員の育成・配置を描いたキャリアパスを作成し、人材育成に用いることを期待したい

園開設まだ2年目であり、小規模の保育園で職員の人数も少ないが、六町保育園が職員に求める人材像や、身につける技術水準、知識、専門資格を具体的にまとめたものを整理し、職員に周知することは必要である。主任、各リーダーや担当が決められているが、職責や職務内容、求められる力量もまだ明確にはなっていない。組織として長期的にどのように職員を育成・配置していくのか、即ちそれを描いたキャリアパスを今のうちに作成し、それに基づいた人材育成計画をたてて、将来の事業継続・発展に寄与することを期待したい。

② 「キャリアビジョンシート」を用いて、職員の能力の向上と目標の達成を導いている

職員の定着に向け、職員の意欲と能力向上に取り組んでいる。今年度から職員各自が「年度の目標」、「自分の強み弱みとそれを活かした取組み」、「なりたい自分」を文章化した「キャリアビジョンシート」を作成して、園長が3ヶ月に一度、その達成状況の確認、問題点の解決や意向について面談をおこない、職員の能力の向上と目標の達成を導いている。また、「働き方レシピ」など一日の自己の行動を「デイリープログラムシート」に記入・分析し、保育の質の改善につなげている。11月の面談では賞与に、年度末の面談では昇給に反映する予定でいる。

③ 多くの研修受講の機会があり、職員の希望や育成も考慮して派遣をしている

多くの研修受講の機会があり、種類として法人グループで企画する地域貢献活動リーダー・保育力向上リーダー・クリエイター部・クラフトデザイン部・リズムパフォーマンス部・フィジカル部・本部・園長・主任の各研修があり、地域社会主催として区が開催する年齢別担任研修、発達障害保育・食育・アレルギー対応・保健衛生などのテーマ別研修、3歳児未満保育者研修など豊富にあり、職員の希望や育成も考慮して派遣をしている。研修内容は職員会議で報告され、報告書は掲示されて既読印とともに感想がポストイットで貼り出されて共有されている。

サブカテゴリ-1 (7-1)

評価項目 1

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

目標の設定と 取り組み

- ## 取り組みの検証

- ## 検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年は園開設一年目であり、保育理念という共通理念がまだ浸透していないため、主任を中心にして「園のしおり」を作成して、まずは「保育理念」、「保育方針」を目に見える形にしている。その浸透を図るため、二年目の重要課題に「理念と業務」を設定している。作成した園のしおりには、年齢別の保育目標も記し、育てほしい子どもの姿とその時の保育の姿勢を示している。今年度主任から昇格した園長や経営層は、「働き方レシピ」や「キャリアビジョンシート」という道具立てを用意して、職員自らに保育の考え方を整理させている。また、3ヶ月毎に実施している職員との個人面談を通じて指導をして、“（職員が理念を）意識した業務”が実践されるように取り組みはおこなわれている。本課題は今年度の課題でまだ年度途中であり、最終評価、即ち検証もこれからである。ただし、着実に業務意識の改善は進んでいると思われる。設問は難しいが、保護者や職員にアンケート調査などを実施して、理念やビジョンが意識された保育がおこなわれているかどうかの検証を行うことが望まれる。そしてその内容を精査して、次年度の重要課題の設定に寄与することを期待している。

評価項目 2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

新任園長が掲げた今年度の二つ目の重要課題は、「それぞれが責任をもちながら、自分らしく仕事に取り組む」である。昨年度は、園を開設した一年目であり、園の運営は経験のある保育士に負担がかかる一方、経験の浅い保育士や非常勤保育士は自分の持ち味が出せなかった。そこで常勤職員・非常勤職員、ベテラン・浅経験者と分け隔てなく、いろいろな行事や保育活動について自分の得意分野に応じて担当をもたせた。またそれに応じて、各月に、園長・地域貢献活動リーダー育成・主任・保育力向上リーダー・クラフトデザイン部・リズムパフォーマンス部、フィジカル部・クリエイター部の各種研修を設け、職員の能力と技術の向上を図っている。更に今年度は職員会議の前に、まずクラス担当者内でクラス担任会議をおこない、「クラスの目標」、「クラスでどのような保育をおこなうか」、「担任二人でどの段階まで達成可能か」についてテーマアップした年度課題に対して、月ごとにクラスの運営や工夫など振り返りをおこない、次に園長も参加をするクラス会議で報告し指導を受けて、さらに職員会議に臨むという三段階方式をとって、職員全員が参画する仕組みに切り替えた。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む）
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年度は園を開設した一年目であり、更に今年度は園長が交替をしていて、前年度の重要課題とPDCAサイクルについては確認ができなかった。今年度の二つ目の重要課題は、「それぞれが責任をもちながら、自分らしく仕事に取り組む」と設定されているが、この課題が達成されたかを測る目標値が曖昧である。”自分らしく仕事に取り組む”とあるが、”自分らしく”、”取り組めた”か、何を以ってどのように検証するかを現段階で想定しておき、職員にも共通認識として持つておかないと取り組み評価、検証や結果の反映は難しいと思われる。新たに仕組みとしておこなっているクラス担任会議で作成しているシートと個人ごとに作成している「キャリアビジョンシート」を連動させて、”自分らしく”に関して具体的なアクションプランを各職員が作り、その取り組みや成果を評価や検証に繋がたら良いかと思われる。この観点で、シート内容の追加・見直しや職員と共通認識を深めることを期待している。本課題は本年度のものであり、目標値の見直しも含めて、上記の評語を選定した。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリ－6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリ－1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（ 〇〇〇〇 ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリ－1 の講評		
	① 利用希望者への情報提供は、ホームページやフェイスブックで伝えている 利用希望者に対してホームページやフェイスブックで情報提供している。会社ホームページでは、全国のMIRATZ保育園共通の保育理念、目指している子育て支援活動について紹介している。「先生インタビュー」のページがあり、保育に対するやりがいや今後やりたいこと等園に働く保育者の子どもへの思いや園の空き情報も知ることができる。園の行事や保育情報については、フェイスブックで子ども達の活動について写真をのせて伝えるようにしている。園パンフレットで年間行事やデイリープログラムを知ることができ園生活がわかる。 ② 利用希望者の園見学は見学者と相談のうえ日程を決め柔軟に対応している 利用希望者の園見学は電話連絡で受け付け、園の行事や子ども達の活動に配慮し見学希望者の希望を聞きながら相談の上日程を決めている。受け入れ時間は、園の子ども達の遊びの様子を見たり、一緒に遊びを体験したりできるように午前10時～11時を設定している。今年度は、4月～8月の5ヵ月間で親子見学者10組と出産前見学者3名が見学している。保育体験と兼ねる見学者が多い。今年度は0歳児親子が多く0歳児クラスの散歩と一緒に参加して保育園での活動を実体験して楽しんでいる。保護者の子育てに関する質問が多く、育児相談にも応じている。 ③ 保育園の情報を区に提供している 区からの情報提供要請には、随時対応している。利用希望見学者は、区のホームページで園を知って来る人が多くいる。区のホームページで知ることができる園の住所から、保育園が駅からどの位の距離にあるかや小規模保育園での保育について実際に見て知りたくて連絡をしてくる見学者が多い。区のホームページには、「保育園の利用について」や開所時間、申込み方法、保育料等詳細を知ることができる。この区のホームページからMIRATZ保育園のホームページにアクセスすることができる。		
2	サブカテゴリ－2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/6
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点（ 〇〇〇 ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

	評価項目 2				
	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点 (〇〇●)				
	評価	標準項目			
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当		
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当		
3	○あり ●なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当		
	サブカテゴリー 2 の講評				
	① 入園時に、園のしおりや重要事項説明書を使い園について説明し保護者の同意を得ている 園のしおりや重要事項説明書をもとに入園オリエンテーションや面談をおこない保護者の同意を得ている。園のしおりを使い、園の保育理念や保育方針、保育目標、園での食事、健康管理、園のきまり等についていねいに説明をしている。園のしおりは、昨年度全職員で検討し作成した。園のしおりに園のきまりや守ってほしい事項などを明確に記載して規律をただし、保護者と共有することで子育てを共にする保護者とのより良い関係を築いている。園のしおりについては今年度使用してみて見直し検討を予定している。 ② 慣らし保育時間を見直し、子ども達が無理なく園生活に慣れるようにしている 昨年は、慣らし保育の時間設定が子どもにより15分ずつずれた時間設定であったため、お迎えの時に混乱してしまう状況があった。そこで、時間の見直しをおこなった。今年度は、クラスで同一時間の設定にしたので、保護者も保育者もお迎えの際に混乱することなく子ども達がスムーズに降園できた。課題が生じた際に解決に向けた改善策を検討する姿勢が良い結果につながっている。 ③ 新しい園への入所の際して子どもや保護者の不安軽減のために地域連携を課題としている 設立2年目という事もあり、2歳終了時の連携施設がないため、どこの保育園が良いだろうかという保護者の不安に明確にこたえることができない。昨年の2歳児の卒園後の入所先は、私立幼稚園や認可保育園、区外と分かれている。在園児の居住地が広範囲であり、情報収集には困難さがある。園は、サービス終了時の次の施設への移行がスムーズにいくために地域との連携を課題に取り組んでいる。今後の取り組みに期待したい。				
	サブカテゴリー 3				
	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12/12			
	評価項目 1				
	定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 (〇〇〇)				
	評価	標準項目			
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当		
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当		
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当		
	評価項目 2				
	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (〇〇〇〇〇)				
	評価	標準項目			
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当		
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当		
	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当		
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当		
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当		

評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリー 3 の講評			
① 子ども達の心身の状況や生活状況等を把握し、園の定めた様式で記録し把握している 入園時に、入園までの生活状況や心身の状況等を、児童票に記入してもらっている。入園後の子どもの成長発達の変化については0歳児は随時、1歳児と2歳児は3期に分けて児童票の保育記録や健康記録に記録し把握している。個々の成長発達についてクラス会議で分析と課題の抽出をおこない個別計画を立案し、月間指導計画に記載している。月間指導計画には、前月の子どもの姿・ねらい・保育内容・環境と援助と配慮・保護者への支援・月の反省の項目がある。子どもの課題を明確に記載でき、個々の保育に活かせる様式となっている。			
② 指導計画は、全体的な計画を踏まえて作成し、子どもの変化を捉えて見直している 全体的な計画の教育については、乳児（0歳児）は3つの視点（身体的発達・社会的発達・精神的発達）をふまえて作成されている。1歳から2歳児は、5つの領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）で区切られている。この全体的な計画のもと1年を3期にわけた年間指導計画が作成されている。これを月間指導計画、週案に具体化している。子どもたちには個別計画を立案し保育をおこなっている。月中には職員会議で保育の振り返りをおこない評価し、個別計画は子どもの変化を捉えて見直し計画的な保育がおこなわれている。			
③ 子どもや保護者の状況、情報をクラス担当だけでなく、全職員で共有している 情報伝達は、職員会議だけでなく朝礼での申し送りや午睡の時間等で伝えあい、全職員間の情報の共有化をおこなっている。子どもや保護者の状況の変化について、早番担当職員が個別のチェックシートに記録し、申し送りや引き継ぎをしている。また、以前は、申し送りノートでおこなっていたが、今年度はクラス別のカラー付箋に内容を入力したものを事務所ボードに貼り、全職員で共有するように改善した。その結果、子ども・保護者の様子が、すぐに捉えられ選番の職員が、すぐ把握して保育をすすめられる様になった。			
5	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5	
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	

サブカテゴリー 5 の講評

① 子ども一人ひとりを尊重した日常の保育を大切にしている

園のしおりを説明する際、プライバシー保護のためにフェイスブックへの写真掲載と制作物としての写真の使用についての二点について保護者に署名をしてもらい同意を得ている。フェイスブックへの写真掲載については、顔が映っていない写真を選び、また、修正するなどして慎重に選ぶ旨使用の考え方が記載されている。今年のプール遊びでは、園の玄関前から玄関内にビニールプールを設置して遊ぶことにした。通りに面しているためカーテンを閉めて子どもの姿が外から見えないように配慮している。おむつ替えは、トイレ内のおむつ交換台を使用。

② 保育士がプライバシー保護や虐待防止について理解を深める取り組みをしている

重要事項説明書の中で「子どもと保護者のプライバシー保護のためにスタッフは高い意識を身につけ十分配慮をおこなう」と記載している。これをふまえて、保育士は区のガイドラインの「保育実践振り返りチェックシート」を使い2ヵ月に1度振り返りを行っている。チェックシートの中の虐待の早期発見・人権の尊重・プライバシー保護の項目に注視して日々の保育で意識が薄れないように、保育士一人ひとりが保育を振り返ることを大切にしている。各クラス人数分の虐待チェックシートを用意し気づきがあればすぐチェックできるようにしている。

6

サブカテゴリー 6

事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 5/5

評価項目 1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点 (〇〇〇)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている

○非該当

●あり ○なし

2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている

○非該当

●あり ○なし

3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している

○非該当

評価項目 2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点 (〇〇)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている

○非該当

●あり ○なし

2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている

○非該当

サブカテゴリー 6 の講評

① マニュアルや手順書を整備し日常的に活用できるよう見直しを進めている

事務室掲示の緊急時対応の手順や連絡先を明確にした掲示物の見直しをおこなう等、子ども達の日常に直結するものから見直しに取り組んでいる。お散歩マップの作成にも取り組んでいる。散歩先の詳細な情報を記載することで年齢や目的を明確にし日常的に保育士が手引きとして活用することができると同時に子どもの安全を守るためのものにしたいと考えている。今後は、既存の保健衛生管理マニュアルや感染症対応管理マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル等については、園に合った使いやすいものに見直すことを検討している。

② サービス向上のため運営委員会を実施して意見や提案を反映した見直しを目指している

運営委員会は、園長・主任の2名、法人代表1名、苦情対応受付窓口の第三者委員にもなっている地区の民生委員2名、保護者代表2名の7名で構成されている。年2回の開催予定で9月の運営委員会が第1回目の開催になる。議題は「上期事業報告」「下期事業計画」「次年度事業計画に向けて」「上級救命講習全保育士受講」について実施した。園の議題提供から活発な意見交換の場となり、より良い保育のために意見や提案が反映されるよう期待したい。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 33/34	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（ ○○○○○ ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
	評価項目 1 の講評		
	① 子どもの発達状況や生活状態を踏まえ子ども一人ひとりを大切にした保育をしている 園の年間計画は「家庭との連絡を大切にお子さまの成長を共に見守る」とし、その方針は毎月のクラス計画に反映されている。子どもの心身の状況や生活環境の変化は、連絡ノートや登園・降園時の様子の観察や、子どもや保護者の会話等から把握するとともに、クラス会議前に担任同士の話し合いを通じて共有し、計画に基づいた子どもへの働きかけを適切におこなうようにしている。職員全体で子ども一人ひとりの成長や生活環境の変化を敏感に受け止め全体的な姿を把握し、子どもとの関わりを大切にした保育をしている。		
	② 子どもたちが人やものへの興味や関心をもち遊べる環境づくりをしている コーナー保育をとり入れ、キッチン、ままごと、絵本のコーナーがある。子どもたちは好きなコーナーで遊べるようになっている。この環境ができたことで、子どもたちが自分の空間で落ち着いて遊ぶ姿を見ることができるようになった。玩具や絵本を手に取りやすい位置に並べている。落としても危険のないよう軽いジュースボトルを使った手作りおもちゃも置かれている。また、園にあるテーブルをトンネルや滑り台にした遊びを設定し、1歳児と2歳児が同じ部屋で体を動かして遊ぶ工夫をしている。これが異年齢交流の機会にもなっている。		
③ 配慮が必要な子どもも生活や遊びを通し友だちと共に成長できる援助をしている こだわりが強くて配慮を必要とする子どもには、子どものペースを大切に、いつもと同じ流れで生活ができるように配慮をしている。また友だちとの遊びや生活の関わりをなかで成長できるように保育士が仲介して働きかけをしている。おもちゃあそびでは、目に入るものすべてが気になってしまうため、保育士が意図的に他の遊びコーナーにカーテンをして、その子どもが自分の遊びを楽しめるようにしている。今後、区の発達支援巡回相談を依頼し、気になる子どもの発達支援に繋がるよう検討している。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（ ○○○○ ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目 2 の講評

① 登園時に必ず保護者からの伝言を確認し、連絡ノートで体調を確認して保育を進めている

0歳児～2歳児までの保育園であり、登園したときに必ず保護者に子どもの体調に変わりがないか、家でのあそびや生活の様子を聞き、視診で子どもの顔色や表情を個別チェック表に記入し、保護者と確認をして子どもをあずかっている。連絡ノートでも家庭での状況を確認している。保護者が連絡ノートを忘れた時は園で準備した「忘れた時用ノート」を使い家庭での様子を書いてもらう。連絡ノートは複写式で一部を園保管し家庭と共有している。子どもの様子や確認して得た情報は、必ず職員全体に伝え、職員間で共有し確認して保育を進めている。

② 子どもの発達に応じた基本的生活習慣の大切さを伝えている

0歳児クラスは年間計画で、個々の生活リズムを重視して健康な生活を送るとし、連絡ノートは保育園生活と家庭生活が連続した1日24時間の生活状況を記録できる。1、2歳児クラスは個々の子どもの生活リズムに配慮している。2歳児は安定した生活リズムで過ごす計画にしている。個人目標や指導計画に子どもの変化を記録している。個々の生活状況を踏まえつつ安定した基本的生活リズムの大切さについて、保護者の理解が得られるように個人面談や懇談会、連絡ノート、登降園時の保護者の会話等を通して働きかけている。

③ 子どもの状況に配慮して午睡や休息の時間を柔軟にとっている

0歳から2歳までの保育園として、午前睡眠や夕方睡眠など、登園時間や連絡ノートから家庭での睡眠時間を考慮して、子どもの睡眠欲求に配慮した保育をおこなっている。今年度、子どもの「ゆっくりできる」スペースを確保するために布団を購入した。子どもたちの睡眠には静かな環境づくりをしている。0歳児には優しく体に触れ安心して眠れるようにしている。午睡中のうつぶせ寝での事故が多いことから、保育園全体で睡眠時は仰向け寝を基本としている。また、子どもの様子は必ず睡眠チェック表に記録し、午睡中の子どもの安全を確認している。

3 評価項目 3
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
評点 (○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目 3 の講評

① 子どもが遊びを楽しめるコーナー作りなど、空間の配慮のため保育室を改善した

子どもたちの遊びが豊かに展開されるように、コーナー保育を取り入れ木製のキッチンセット、人形、絵本、様々な色水や反射素材を入れたミニペットボトルの手作りおもちゃを手の届く所に置いている。0歳児には手作りのセロテープ芯の握りおもちゃが作られ、振ったり、転がるのを這い這いで追いかけて遊ぶ姿があった。部屋で1歳児はトンネルのくぐり抜け遊び、2歳児はテーブルの脚を曲げて滑り台に工夫して斜面滑りを遊んでいる。プール遊びでは玄関を利用して遊べるように展開している。今年度は鉄棒を購入して、室内での運動遊びを充実させている。

② 子どもの発達に応じた、言葉による伝え合い遊びを楽しんでいる

わらべうた遊びや触れあい遊びを繰り返し楽しんでいる。身振り手振り等の言葉にならない言葉を受け止めて言葉で返したりして、あそぶ心地よさを感じられる保育をしている。絵本の読み聞かせでは、子どもは保育者の傍にきて絵本をみながら、絵本の言葉を体で感じながら楽しんでいる。2歳児は、安心して自分の気持ちを表現したり、自己主張ができる事を大切にしている。子どもの「イヤ」の言葉も受け止めながら、子どもが興味や関心を示したことに共感する保育を進めている。

	③ 戸外遊びを含め、季節を感じとれる保育に取り組んでいる 年間保育計画に、自然と触れあう園外散歩を位置づけている。戸外遊びで虫や花を探したり、雨上がりの水たまりを見ついたり、季節を感じとれる保育に取り組んでいる。0歳児は保育士に抱っこされ、木や草に触ったり手を引かれながら芝生の上を歩いたりして、自然を体で感じられる保育をしている。2歳児は雨上がりの水たまりを発見して、「なんでここにあるの」と不思議に思う気持ちを表現したときは、一緒に考えたりその発見を楽しんだりできる保育をしている。園内でもカタツムリやアゲハ蝶の幼虫を飼育して生き物に触れる機会を作っている。														
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (〇〇〇) <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 4 の講評 ① 家庭では体験できない日本ならではの行事に取り組む子どもを豊かに育てている 家庭では体験できなくなっている日本ならではの行事を伝えていくことが、保育園の一つの役割と考え行事に取り組んでいる。七夕や節分、ひな祭りを行事予定で計画している。この他に「縁日ごっこ」「すいかわり」に今年は取り組んでいる。子ども達が実際に物に触れたり、参加したりしながらその行事について知ることができるようにねらいを持ち、おこなっている。縁日ごっこでは子ども達が縁日の雰囲気を感じられるように、みんなではつぴを着ていつもと違うことが伝わるようにした。お迎えの時間帯では、保護者と一緒に魚釣りをして楽しんだ。 ② 行事を通した体験が子どもの成長を育てていることを保護者に伝える工夫をしている 日々子ども達の活動を園長が記載して掲示をし、保護者に伝えるように努めている。消防署合同訓練の際に子ども達の大きな消防車を見た驚きや、興味津々で消防車に触れている姿をその日のうちに掲示をして伝えている。縁日ごっこやデイサービスセンターへの訪問の際には、この様子を写真に撮り園内掲示板に掲示して保護者に見てもらえるようにしている。保護者が目で見ても子どもの姿や成長について知ることができる工夫をおこなっている。保護者に対しては、保護者に負担がかからないように考えて参加行事は少なくするようにしている。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当													
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当													
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当													
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (〇〇) <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 5 の講評 ① 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるように環境を整えている 保育時間の長い子ども達の遊ぶ姿から、保育室にゴロリと横になれるスペースが必要ではないかという保育者の提案があり、布団を購入し環境改善をおこなった。日頃から保育士は担当クラスの子もだけでなく全園児との関わりを心がけ、子どもを見守り保育をおこなっている。月案検討の職員会議で子どもについて情報共有がなされているため、その時々の子どもの変化に対応ができる。朝夕保育時、コーナーごとの遊びの設定は担当者にまかせている。担当者は子ども達の状況や興味関心を考慮して遊具設定をおこない責任を持って長時間保育をおこなっている。 ② 0歳児の延長保育をよりていねいにおこなうために職員配置を検討している 0歳児担任の欠員に伴い0歳児が異年齢の中で過ごすことがあったが、正規職員の配置により0歳児にもう1名職員の配置をすることを検討している。0歳児の発達を考えると、よりていねいな長時間保育をおこなうことが望まれる。園全体で話し合い、各年齢の子ども達が落ち着いた環境の中で過ごせるように今後も課題の抽出・解決をおこない充実した保育の展開に期待したい。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当			
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当													
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当													

6	評価項目 6		
	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (○○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
	評価項目 6 の講評		
	① 楽しく食べられる食事の環境づくりをしている 離乳食の開始は、家庭の離乳食の進み具合を確認し、栄養士と保護者が相談して進めている。0歳児の離乳食は子ども1人に保育士1人がついて、噛む動作を見せ「カミカミね」と声かけしながら食べさせている。食事と授乳が重なった時は、手製の屏風で授乳児の気が散らないよう配慮している。1、2歳児は保育士が子どもの傍で野菜への関心を促したり楽しい食事の雰囲気をつくっている。苦手の野菜を友だちと食べられたときは、子どもの様子を連絡ノートで伝えている。保護者参加の給食試食会は園の子どもの様子や食事内容を知ってもらう機会になった。 ② 保護者との協力のもとアレルギーに対応した食事を提供している 園として給食のアレルギー対応についてのガイドラインを定めている。アレルギー対応食にする場合は、主治医またはアレルギー専門医が記載した診断書・生活管理指導票の提出が必要。家庭で試された食材を提供するため、「食材チェック表」に記入してもらっている。毎朝、当日の献立を保護者と保育士とで食材確認をしている。アレルギー対応児は複数名いる。アレルギーが違うため食器は色違いに、食事は必ず声をかけて個別に配膳をしている。食事は他児と離れた位置に座り、食後は清掃が終了するまで別の場所で過ごすなどして配慮し対応をしている。 ③ 食べ物への関心を育て、旬の野菜に触れ、季節を感じる食事づくりをしている 「目で見ておいしい、食べておいしい給食」「楽しい食育」を目標に、旬の野菜を取り入れた行事食や子どもたち参加の食育計画にしている。今回旬のそら豆を使い、子どもたちが皮をむき、それを子どもたちが昼食で食べる体験をした。また2歳児は給食の食材をお店で買う体験をするなど、給食と保育が一体となって保育の取り組みをしている。給食試食会は保護者が参加しやすく1週間の予定でおこない、保護者から「参考にしたい」など意見がだされた。日常の食事の雰囲気を変えてバイキング形式にしたり、子どもたちが楽しめる食育活動となっている。		
	7	評価項目 7	
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点 (○○●)	
評価		標準項目	
●あり ○なし		1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
○あり ●なし		2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし		3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価項目 7 の講評			
① 園は子どもの安全を第一に考え日常的な健康管理と事故の防止に努めている 毎朝の受け入れの際に視診や保護者からの申し送り事項、気づいたこと等について個人チェック表に記載し職員間で共有をして保育にあたっている。連絡ノートで家庭での様子を把握している。同ビル内のクリニックに委託医を依頼し連携をとっている。子どもの健康管理について心配なことがあれば、相談できる体制が整っている。戸外活動に出る際は、所定の用紙に行き先や人数、出発及び帰園時間を記載し園の携帯を持参して連絡体制をとっている。散歩先では、危険防止のため遊びの前に危険物のチェックをおこない帰園後用紙に記載をしている。 ② 子どもの健康維持に向け保護者への感染症の情報提供をおこない連携につなげている 保護者への感染症の発症情報や発症時の対応・配慮については、園だよりでおこなったり保護者へ直接伝えたりしている。インフルエンザ発症の際には、発症人数についてその都度情報提供をおこない子どもの健康管理への注意喚起をおこなった。手足口病の発症の際には、園だよりで具体的な園での対応について情報発信している。保健だよりでは、季節に多く発症する感染症や子どもの状況に合わせた対応のポイントを知らせている。			
評価項目 7 の講評を入力してください			

	③ 医療的なケアの必要な子どもの受け入れはしていないが、今後の検討課題としている 昨年、今年と医療的ケアの必要な子どもは受け入れていないため専門機関との連携はしていない。今後、法人の考え方や系列園の状況、委託医に話を聞くなどして情報収集をおこない受け入れが可能か等について検討課題としている。																				
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点 (〇〇〇〇〇) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 8 の講評 ① 保護者が安心して子育てや就労ができるよう配慮や支援をしている 子どもの延長保育、土曜日保育について、保護者の就労や家庭の状況を聞いて決定している。勤務により送迎時間が間に合わない時は、月極延長保育（月10日以上利用）とスポット延長保育（月10日以内）の2種類があり、補食を提供している。また、勤務による土曜日保育、連絡による急な時間延長もおこなっている。職員会議で延長保育を議題に、早番遅番の対応についてや子どもの状況によって0歳児クラスで保育するなど課題を抽出し改善している。子育てや保護者が安心して就労できる支援をしている。 ② クラス懇談会、保育参観など行事を通して保護者同士が交流できる機会を設けている 園のしおりや重要事項説明書で年間の行事を伝えているが、全体会でも行事計画を知らせている。園のしおりには、行事・予定月日・保護者参加のあり・なしが記載されている。園便りでも行事について知らせ、より多くの保護者が参加しやすいようにしている。給食試食会、個人面談、縁日ごっこ、保育参観、クラス懇談会など、保護者同士の交流の機会をつくっている。縁日ごっこの行事は、子どもも保護者も、縁日ごっこという楽しい雰囲気なかで、保護者同士の交流がしやすい行事となっている。 ③ 保護者の話をじっくり聴き、職員と保護者の信頼を深める支援をしている 今年初めて保護者の個人面談を実施した。昨年までは日々の子どもの様子について、連絡ノートや降園時に伝えていた。個人面談は新体制になったこともあり、子どもの様子を立ち話ではなく、じっくりと保護者の話を聞いたり伝えたりした方が良くと考え、保護者が保育園に慣れた7月に実施した。年度後半にはクラス懇談会を計画している。給食試食会を6月におこない食事について直接栄養士に相談ができ、その後のアンケートでも、「今後の食事の形状や味付けの参考になった」という意見が寄せられるなど、保護者への子育て支援となっている。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当																			
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当																			
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当																			
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当																			
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当																			
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点 (〇〇) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外のひとと交流できる機会を確保している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 9 の講評 ① 地域交流体験に参加したり、散歩を通して地域と関わる機会をつくっている 今年度の新しい取り組みとして、地域福祉施設交流会をおこなった。高齢者デイサービスセンターでおこなった交流会は、保育園から大人の足で10分程の場所にある施設に2歳児が訪問した。子どもたちが歌の発表や手づくりの団扇をプレゼントした。一方、センターの方からは手づくりポシェットをもらうなどプレゼントの交換をし、その後園児と高齢者とがタッチや握手をして触れあい楽しい交流の体験となった。また、地域の公園に積極的に散歩に行き、歩くことで園を取り巻く商店や地域の環境を子どもは目で見て肌で感じる事ができている。 ② 地域の人に園の行事に参加してもらうことを検討している 中学生2名の職場体験を受け入れたことで、子どもたちが職員以外のひとと交流できる機会をもてた。今後は、地域の人たちに園の行事に参加してもらうことを検討している。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外のひとと交流できる機会を確保している	○非該当									
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当																			
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外のひとと交流できる機会を確保している	○非該当																			

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル①	地域に根ざした保育園を目指し保育体験・実習生等の受け入れを積極的におこなっている	
内容①	昨年設立1年目で保育体験・実習生の受け入れはなかった。地域に向けて園の知名度をあげるため園長自ら近隣中学校や高校、保育士養成校におもむき園の保育体験・実習生の受け入れ・ボランティアの募集についてポスター・チラシ・電話を使い伝えている。今年度中学生の職業体験2名を受け入れた。小さい子どもとのふれあいがとても楽しく学びになったという手紙があり夏休みに再訪問する。今年度新たにデイサービスセンターとの交流を二回予定している。6月には、2歳児が訪問し子ども達の歌の発表や一緒に踊りふれあう活動をおこなっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育士の資質向上のために、自己チェックシートと働き方レシピを記載し保育者の保育実践の振り返りをおこなっている
	内容	職員と組織の能力向上のために、保育士自身の規範と対応力について考えることが必要であると考え自己チェックシートと働き方レシピを活用し保育実践の振り返りをおこなっている。自己チェックシートでは、特に「人権の尊重」「虐待等の行為」「虐待・ネグレクトの早期発見」「プライバシー保護」に着目し2ヵ月に1度実施している。働き方レシピは、出勤に始まり一日の時間帯での「自身の行動」と「その際の配慮と言葉かけ」「図・環境構成」を詳細に記載している。自身の保育を振り返ることで気づきが多くあり日々の保育に反映されている。
2	タイトル	0歳から2歳の子どもたちを預かる保育園として、人としての基礎を育み培うために担当制保育の導入に向けて検討を重ねている
	内容	担当制保育を実施するため区立園の担当制保育を見学した。見学後自園に学びを持ち帰り検討した。言葉かけについてはすぐに取り入れることが出来るが、食事対応については人的配置を考え今後の検討課題としている。どのように進めるか職員と話し合い、担当制保育経験者の保育者の提案で午前の牛乳の時間から始めている。排泄についても個々への促しをおこない、個別指導計画は担当者が記載し担任だけでなく全職員で共有している。子どもの状況と保育者の働きかけを検証し子ども一人ひとりを丁寧に育むことを目指し今後に向けて検討している。
3	タイトル	全園児の状況把握と研修での学びの共有をおこない、丁寧で温かい保育をおこなっている
	内容	年度初めに決めた研修計画のもと保育士は研修を受講する。受講後の研修報告書は保育士全員が読み事務室のボードに掲示される。読んだ職員の感想等は付箋に記載され貼られている。研修の学びが共有できるように工夫をすることで一人の学びがみんなの学びへと工夫している。情報共有は、日常的に昼の時間やクラス会議、職員会議で子ども一人ひとりの成長や課題について共有検討している。職員は、担当の子どもだけでなく全園児について状況把握をすることができる。この職員間のきめ細やかな情報共有により丁寧で温かい保育をおこなっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後マニュアル整備を進め、手順書の見直しを図り誰もが迷ったときに日常的に活用できるように整備することが望まれる
	内容	すぐに必要な危機管理関連のマニュアル等の見直しについて現在進められているが、既存マニュアルから日常的に活用できる手引書を整え職員と共有することが必要とされている。例えば、感染症対応の用具を誰が対応しても同じ手順でおこなえるように確認共有できる手順書等が提示がされていない。掲示している緊急連絡の手順、苦情申し立て第三者委員の提示をわかりやすいものにすることで職員が迷うことなく対応出来るようになる。マニュアルや手順書は、見直しの基準・時期を決め見直しをおこない適正なものにしていくことが期待される。
2	タイトル	年度で実施した活動課題と実践内容を明らかにし、その反省を踏まえて次年度の事業計画に反映するプロセスを改善することを期待したい
	内容	昨年度の事業報告書を作成しているが、開設1年目ということもあり事業を軌道に乗せることが主であり、あまり活動内容とその反省は触れられていない。そのためその結果として作成される今年度の事業計画の課題との関係も不明である。園長が抱えている今年度の課題は多々あるので、例えばそれをまず大括りに大分類として層別し、更に具体的な課題や方策を中・小分類としてまとめた年度課題展開表を作成して、個別の活動の実行と進展確認を定期的に行い、年度の総括として今年度の事業報告書にまとめ、次年度の事業計画書に反映することを期待したい。
3	タイトル	子ども自ら選びとった遊びの時間が十分保障され、遊びが細切れにならないよう満足感が十分味わえる遊びの充実が望まれる
	内容	0歳から2歳頃の子ども達は、環境に関係なく自分のイメージを展開することが難しい時期である。子どもの手の届く所に玩具や絵本が置かれて子ども自身が選び取れるような室内の工夫が大切となる。子どもが自ら選び取ったあそびが細切れにならないように時間を十分保障され満足感を味わうことで興味関心を育むことが望まれる。人的な要因から一斉保育の時間が生じているが、子ども個々の遊びが中断していないか一度検証をすることから小規模保育園だからこその保育の充実について、全職員で検討し配慮・工夫を図ることに期待したい。